

第66期 中間株主通信

2010年4月1日～2010年9月30日

リバーエレクトック株式会社


証券コード 6666

RIVER
One and Only Creator

さらなる事業基盤の強化を図り、 成長軌道への復帰を目指します。

代表取締役社長 若尾富士男



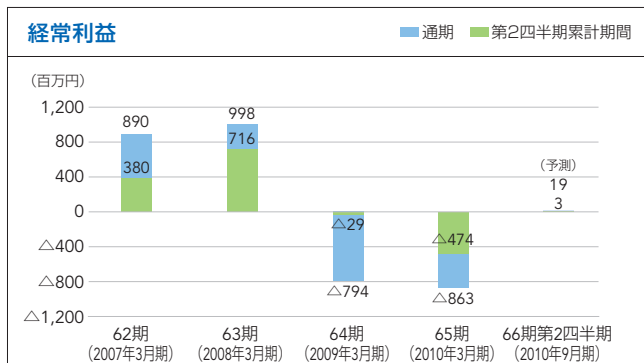
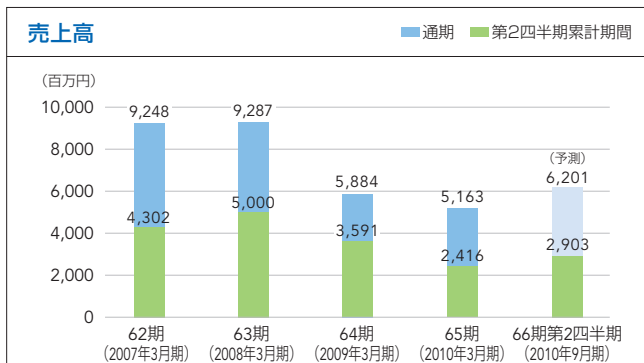
 **第2四半期決算（連結累計期間）の総括を
お聞かせください。**

A. 水晶製品事業が堅調に推移し増収となりました。

水晶製品事業は、スマートフォン向けや車載関連向けが好調であり、前年同期と比較して22.2%増の27億85百万円となりました。その他事業につきましては、抵抗器分野はAV機器向けが好調に推移しましたが、インダクタ分野の事業縮小による影響から減収となり、前年同期と比較して13.3%減の1億18百万円となりました。その結果、全体では29億3百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

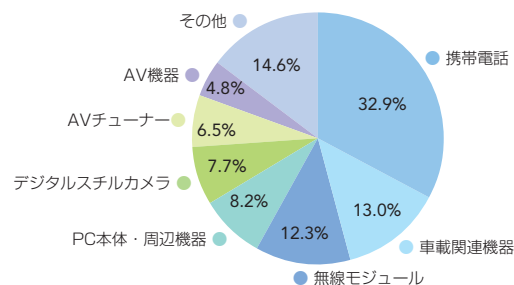
営業利益は増収効果に加え、付加価値の高い水晶発振器の売上げが伸びたことによりプロダクトミックスが改善されたこと、また前期に実施した減損処理による減価償却費の減少などにより事業面における収益力の改善は見られましたが、8月1日より、退職金制度を現行の適格退職年金制度から確定給付企業年金制度に移行したことに伴い、65百万円の退職給付債務が発生した影響

連結業績のご報告



を受け、3百万円（前年同期は4億90百万円の営業損失）となりました。経常利益は円高の影響により為替差損が発生したものの、生産数量の増加に伴う作業くず売却益の増加などにより、3百万円（前年同期は4億74百万円の経常損失）となりました。また、当期純利益については、子会社の株式取得に伴う負ののれん発生益などの特別利益はありましたが、法人税等の増加により6百万円の当期純損失（前年同期は4億14百万円の当期純損失）となりました。

水晶製品用途別売上高構成



通期の見通しについて教えてください。

A. 2期ぶりの黒字化達成を目指します。

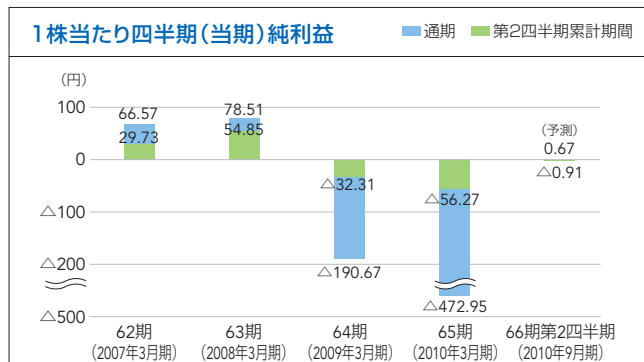
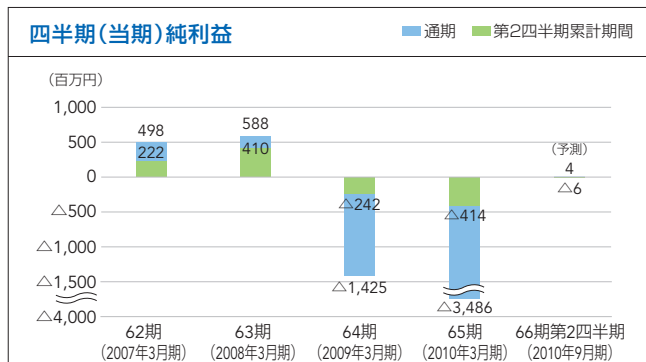
当第2四半期の業績は、期初の予想を大きく上回る結果となり

ましたが、政府支援策の終了や急速な円高の進行など、今後の事業環境が不透明なことから通期予想は期初予想を据え置きとしております。売上高は、パソコン関連、無線モジュール向けが減収となるものの、上期に引き続きスマートフォンを中心に携帯電話市場への拡販に注力していくことで、62億1百万円（前年同期比20.1%増）を予測しております。営業利益につきましては、主力である水晶製品事業の黒字化を図ることで11百万円（前年同期は8億83百万円の営業損失）の営業利益を目指します。経常利益は円高の影響による為替差損の懸念がありますが、19百万円（前年同期は8億63百万円の経常損失）、当期純利益につきましては4百万円（前年同期は34億86百万円の当期純損失）を予測しております。

通期の目標達成に向けた戦略をお聞かせください。

A. 当社の強みを生かした企業ブランディングの確立を推進していきます。

これまで日本の製造業は、よい製品を安く作ることで国際競争に勝ち抜いてきましたが、中国をはじめとした新興国の台頭により、それだけでは不十分であると考えています。今後は、それに加えてお客様を満足させる製品・サービスを追求することで、顧客のロイヤリティを向上させ、どうしても当社の製品が欲しいといわれるような企業ブランディングの確立を目指すことが成長の原動力になると思っています。当社は設立以来、常に電子部品の



小型化を追求してきました。小型化は当社の大きな強みであり、数多くのお客様から高い評価を受けています。当期については、その象徴である世界最小の音叉型水晶振動子『TFX-03』を中心

に収益力の強化に努めてまいります。主に電子機器の時計機能に用いられる音叉型水晶振動子の市場規模は大きく、当社の主力となった『TFX-03』は更なる伸長が期待できる製品であります。これを足がかりとしてブランド力および営業力の強化、販売チャネルの拡大を図り、持続的な成長を目指してまいります。



Q 株主還元についてお聞かせください。

A. 一日も早い復配に向けて全力を傾注してまいります。

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主の皆様への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題としておりますが、ここ2年間は、配当見送りというご期待を裏切る結果となっており、誠に申し訳なく思っております。当中間期につきましても今後の成長戦略を軌道にのせるため、事業基盤の整備と成長ドライバーへの投資を優先させていただきたく、誠に遺憾ながら

無配とさせていただきます。

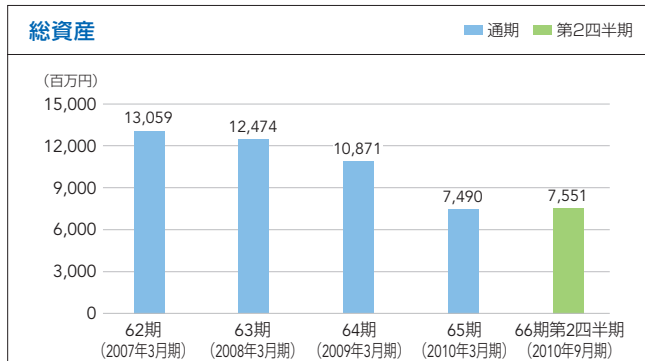
当社は、当期の経営目標として連結ベースでの営業利益の黒字化を掲げており、一刻も早い収益の改善、財務体質および経営基盤の強化を図り、安定的に収益計上ができる体制を整え、早期復配に向けて鋭意努力する所存であります。

Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

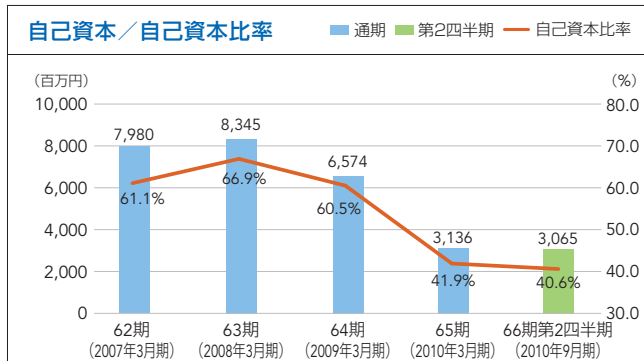
A. 将来の成長に向けたさらなる基盤の強化に努めます。

当期が最終年度になる「第2次3カ年中期経営計画」も、リーマン・ショックを起因とした経営環境の激変などにより、当初の想定どおりに進めることは困難な状況ではありますが、グループ一丸となって着実な成果を上げ、全てのステークホルダーの皆様の期待にお応えしたいと考えております。今後ともより一層のご支援をお願いいたします。

総資産



自己資本 / 自己資本比率

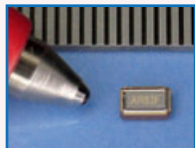


Topics 1 **「TFX-03」が「ものづくり大賞部門」の大賞に輝きました。**

平成22年度「やまなし産業大賞」において、独自に開発した微細加工技術を駆使し世界に通用する製品を開発したこと、水晶振動子に関する世界トップクラス技術であることなどが高く評価され、音叉型水晶振動子「TFX-03」が「ものづくり大賞部門」の大賞を受賞し、11月18日に表彰式が行われました。



音叉型水晶振動子は、主に時計の基準周波数として使われ、腕時計をはじめ、携帯電話・パソコン・携帯オーディオプレーヤーといったデジタル機器から家電製品まで、時計機能を持つあらゆる電気製品に使用されています。特に携帯機器においては、小型、多機能化に向けて、小型部品のニーズも高くなっております。



といたデジタル機器から家電製品まで、時計機能を持つあらゆる電気製品に使用されています。特に携帯機器においては、小型、多機能化に向けて、小型部品の

日本水晶デバイス工業会(QIAJ)の調べでは、音叉型水晶振動子の2010年の需要数量予測は45.2億個(前年比+10.1%増)と市場規模は大きく、成長率も高いものと予想されます。



山梨県横内知事(写真左)と当社三枝取締役

今後も地域産業の発展に貢献できるよう、魅力的なものづくりに邁進してまいります。

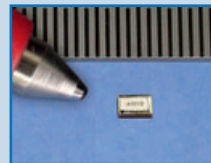
Topics 2 **新製品速報
「どこよりも小さく、どこまでも小さく」
世界最小の水晶振動子を開発しました。**

スマートフォンをはじめデジタル機器に使用される電子部品の小型化ニーズの高まりを背景に、さらなる小型化・薄型化に成功しました。鉛フリー・RoHS指令に対応しており、環境にも優しい製品です。

TFX-04
世界最小の音叉型水晶振動子

cubic volume **44%down**

TFX-03
1.4mm³ ▶ 0.8mm³

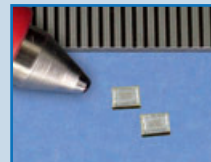


- 小型設計 (1.6mm×1.0mm×0.5mm Max.)
- セラミックと金属蓋を電子ビーム封止により高信頼性を確保
- 無鉛はんだ用リフローソルダリングが可能
- 用途：AV・OA 機器、携帯電話

FCX-08
世界最小の AT カット水晶振動子

cubic volume **41%down**

FCX-07L
0.7mm³ ▶ 0.4mm³



- 小型設計 (1.2mm×1.0mm×0.33mm Max.)
- セラミックと金属蓋を電子ビーム封止により高信頼性を確保
- 高精度周波数特性および高精度温度特性に対応可能
- 無鉛はんだ用リフローソルダリングが可能
- 用途：携帯電話、無線等モジュール



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前期 (2010年3月31日現在)	当第2四半期 (2010年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	4,347,731	4,404,044
現金及び預金	1,638,415	1,412,123
受取手形及び売掛金	1,474,618	1,519,854
たな卸資産	1,109,797	1,254,381
その他	127,476	220,422
貸倒引当金	△2,575	△2,737
固定資産	3,138,939	3,143,765
有形固定資産	2,807,941	2,851,979
建物及び構築物	473,873	465,171
機械装置及び運搬具	1,448,395	1,663,227
土地	415,429	415,429
その他	470,243	308,151
無形固定資産	23,163	20,380
投資その他の資産	307,834	271,405
繰延資産	3,771	3,237
資産合計	7,490,442	7,551,048
負債の部		
流動負債	2,754,749	3,128,071
支払手形及び買掛金	999,826	974,267
短期有利子負債	1,229,488	1,487,853
その他	525,433	665,949
固定負債	1,548,855	1,357,765
長期有利子負債	1,332,572	1,066,258
退職給付引当金	103,108	172,010
役員退職慰労引当金	107,100	113,090
その他	6,074	6,407
負債合計	4,303,604	4,485,837
純資産の部		
株主資本	3,435,045	3,428,323
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,424,475	1,417,759
自己株式	△17,759	△17,766
評価・換算差額等	△298,217	△363,141
その他有価証券評価差額金	1,007	△46,812
為替換算調整勘定	△299,225	△316,328
少数株主持分	50,010	28
純資産合計	3,186,838	3,065,210
負債純資産合計	7,490,442	7,551,048

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
売上高	2,416,127	2,903,330
売上原価	2,308,287	2,279,792
売上総利益	107,839	623,538
販売費及び一般管理費	598,648	619,757
営業利益又は営業損失(△)	△490,809	3,780
営業外収益	45,821	25,538
営業外費用	29,776	25,707
経常利益又は経常損失(△)	△474,764	3,611
特別利益	60,738	5,951
特別損失	587	3,542
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△414,613	6,019
法人税等	4,763	7,404
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,384
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,561	5,330
四半期純損失(△)	△414,816	△6,715

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,872	81,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,554	△238,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,845	△9,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,130	△5,185
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△417,397	△171,740
現金及び現金同等物の期首残高	1,749,468	1,149,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,332,071	977,677

1

営業利益

スマートフォン向けの受注が好調であり、退職年金制度の移行に伴う退職給付債務の増加額65百万円などの影響はありましたが、前年同期の490百万円の赤字から黒字に転換しました。

2

フリーキャッシュ・フロー(営業CF+投資CF)

税金等調整前四半期純利益は6百万円と前年同期に比べ420百万円増加しましたが、減価償却費の減少や法人税等の支払いが前年同期と比較して151百万円増加した影響などもあり、10百万円の増加となりました。



Corporate Profile & Stock Information

会社概要・株式の状況

会社概要

(2010年9月30日現在)

商号	リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION		
設立	1951年3月9日		
資本金	10億7,052万円		
従業員数	113名		
役員	代表取締役社長	若尾	富士男
	専務取締役	岩下	功
	取締役	三枝	康孝
	取締役	高保	譲治
	取締役	萩原	義久
	常勤監査役	古屋	延行
	社外監査役	越智	大藏
	社外監査役	丸山	正和

事業所

本社	〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号		
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号		
大阪営業所	〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F		
名古屋営業所	〒465-0043 愛知県名古屋市中東区宝ヶ丘292番地 藤佳ビル2F		
宇都宮営業所	〒320-0057 栃木県宇都宮市中戸祭1丁目13番27号		

リバーグループ(子会社の状況)

会社名	資本金	議決権比率(%)	事業内容
青森リバーテクノ株式会社	千円 50,000	100	電子部品の製造
台湾利巴股份有限公司	千台湾元 24,000	100	電子部品の販売
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.	千米ドル 123	100	電子部品の販売
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.	千マレーシアリンギット 25,400	100	電子部品の製造
西安大河晶振科技 有限公司	千円 1,500	100	電子部品の販売

株式の状況

(2010年9月30日現在)

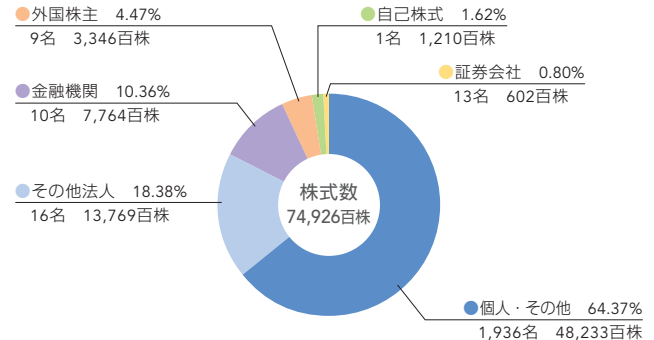
発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,492,652株 (自己株式121,080株を含む)
株主数	1,985名 (前期末比47名減)

大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
若光株式会社	12,233	16.60
竹田和平	3,200	4.34
株式会社山梨中央銀行	2,680	3.64
リバー従業員持株会	1,980	2.69
若尾富士男	1,720	2.33
若尾磯男	1,651	2.24
株式会社みずほ銀行	1,500	2.03
持原和則	1,300	1.76
若尾亘	1,281	1.74
CACEIS BANK, ORDINARY ACCOUNT	1,250	1.70

(注) 持株比率は、自己株式1,210百株を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に定めることがあります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-176-417 (フリーダイヤル)
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載 http://www.river-ele.co.jp/ ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)
証券・銘柄コード	6666

株式に関する手続きについて

株式に関する手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式		特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更 	口座を開設されている証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取請求 ●特別口座から証券口座への振替請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更 	特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社 証券代行部	<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人